

エッセーと短歌で家族を思う

NEWS&  
12月17日  
TOPICS



わが国女子教育の先駆者で歌人としても名高い、郷土の先人下田歌子を顕彰した第14回下田歌子賞の表彰式と記念イベントが岩村コミセンで開かれました。「家族」をテーマに全国からエッセーと短歌を公募。エッセー部門に1,431点、短歌部門に3,181点の応募がありました。

中学生がまちづくりを提言

NEWS&  
12月17日  
TOPICS



上矢作中学校で、生徒たちがまちづくりへの提言をまとめ、地域の人たちへ発表しました。福祉、環境、伝統芸能、文化財保護、子育て、特産品の六つの部会に分かれ、それぞれの実践や今後の展開を意見交換しました。その後、3人がパソコンを使って全体発表をしました。

人ともち  
恵那の今を  
お届けします



消防出初め式でトビはしご登りを披露

NEWS&  
1月9日  
TOPICS



新春恒例の消防出初め式が行われ、今年は女優で市観光大使の宮嶋麻衣さんが一日消防団長を務め、パレードに参加しました。恵那駅前中央通りでは、恵那トビはしご登りが披露されました。ずらりと並んだ10基のはしごから次々と技が決まり、迫力ある演技に沿道から大きな拍手や歓声が起こっていました。

小学生らが無病息災を祈願

NEWS&  
1月4日  
TOPICS



三郷町野井地区で正月の行事として受け継がれている「なんまいだ」が行われました。地域の小学生らがへいそくを持って太鼓、拍子木を鳴らし家々を回りながら1年間の家内安全、無病息災、一家の繁栄を祈願します。併せて「どんど」を実施する日を知らせて回ります。

琵琶を通して障がい者を理解

NEWS&  
12月22日  
TOPICS



市の障がい者理解教育の一環として大井小学校で、筑前琵琶の演奏と講演が行われました。講師は八百津町の琵琶奏者田中旭泉さんが務め、4年生から6年生までの児童150人と保護者が、琵琶の歴史や、目の不自由な人がどのように演奏を伝えたのかなどを学びました。

かるた遊びで山岡を知る

NEWS&  
1月15日  
TOPICS



山岡町に伝わる昔話や町内の名所旧跡、産業などを題材にした郷土かるたを使った大会が、山岡町の農村環境改善センターで開かれました。市民三学山岡委員会らの主催で、地元小学生21人が高学年と低学年に分かれて取った枚数を競いながら、ふるさと山岡を学びました。

江戸時代の刀工の技を見る

NEWS&  
1月8日  
TOPICS



企画展「岩村藩刀剣展」を開催中の岩村歴史資料館では、刀や短刀、やりなど所蔵品23点が展示されています。中でも宝暦10(1760)年に岩村藩の刀工、藤原信昌と兼光が鍛えた短刀とやりは、今も美しい輝きを放っています。企画展は2月26日まで。

お誕生日おめでとう!

募集中

3月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に①住所②氏名(ふりがな)③生年月日④性別⑤電話番号⑥両親の氏名⑦28字以内のコメント⑧ケーブルテレビ放映の可否-を添えて、2月10日(金)までに郵送か電子メールで申し込みください。申し込み多数の場合は先着順で掲載。

□申し込み・問い合わせ  
〒509-7292(住所不要)  
市長公室広報広聴係  
☎26-2111(内線323)  
✉info@city.ena.lg.jp

1歳になりました  
HAPPY BIRTHDAY  
わが家のBABY 2月生まれ

<p>1歳おめでとう 心お姉ちゃんとう 仲良く元気に育ってね!</p> <p>長島町 加藤 亮佑くん 父 武史さん 母 真弓さん</p>	<p>1歳おめでとう うー元気がいい、たくましく育ってね!</p> <p>大井町 丹羽 翔人くん 父 力人さん 母 みなみさん</p>	<p>蓮君おめでとう 心お兄ちゃんになっても元気に遊ぼうね!</p> <p>大井町 竹内 蓮くん 父 亮さん 母 あゆみさん</p>
<p>1歳おめでとう 笑顔で癒してね</p> <p>大井町 木本 真汰くん 父 寿男さん 母 尚美さん</p>	<p>健康でたくましく大きくなってね!</p> <p>大井町 鈴木 遼真くん 父 恵介さん 母 香奈さん</p>	<p>1歳おめでとう うー笑顔たくさん大きくなってね!</p> <p>武並町 山本 智暉くん 父 尚弘さん 母 優香さん</p>

NEWS&TOPICS  
ニュースと話題  
1歳になりました  
HAPPY BIRTHDAY  
輝く恵那人  
HUMAN WATCH



地元で収穫できる特産品のユズで、町おこしをしている笠置地区。昔からユズの木を育てている家庭が多く、10年ほど前から活用を考えて動き出したのが「かさぎゆず組合」である。地元で収穫したユズをペーパースト状にしたものや果汁、丸ごと販売するなど、さまざまな形でユズを販売した。ユズを材料として販売するだけでは「笠置町のユズ」を広めるには限界があると感じていた。特産のユズを使用した笠置ブランドの商品を考えていたが、すぐには専門的な知識や技を持った人はいなかった。しかしその問題を打開したのが林静雄さんだった。林さんは和菓子職人として36年間腕を振るってきた。林さんは「以前からゆず組合から誘われていた。定年退職をきっかけに地元のために何かをしたくて活動を始めた」と当時の心境を語った。組合員には同じ年代も多く、話しやすい環境が商品開発を加速させた。和菓子職人の経験と知識を生かして、みんなとさまざまな商品アイデアを出した。そのアイデアを形に

学ぼう伝えよう  
輝く  
恵那人  
148



特産のユズで町おこし  
オリジナル商品で地域の魅力を伝える

□プロフィール  
かさぎゆず組合員として活動を始めて3年目。町おこしと合わせて笠置地区の民生委員児童委員も務める。



恵那で輝いている旬な人を紹介します

笠置町河合  
はやし しずお  
林 静雄 さん 66歳

ユズの収穫から商品製造の拠点として活用している恵那ビクターセンター。毎月ユズのお菓子作りをしているのだが、仕込みは必ず林さんが行う。「その時々々の気温などによって微妙な火加減がある。数字では表せない長年の経験で調整する」とまさに職人。仕込み以降の加工、袋詰め作業は組合員総出で行う。「互いに気心が通じている仲間と一緒に作業をするのは本当に楽しい」と笑顔で話す。

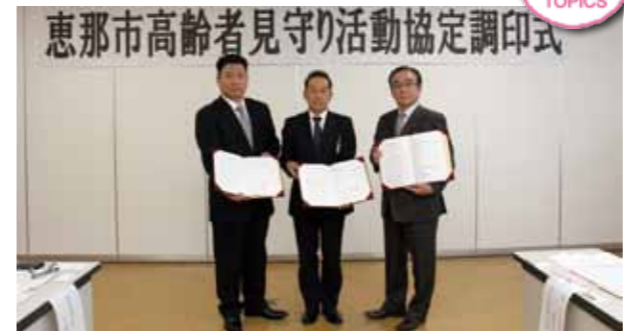
「毎年ユズの木を植えて収穫量を増やしている。新たな商品を開発して、今以上にユズを通して笠置町の活性につなげたい」と目標を楽しそうに語った。



▲ゆずもちゃんゼリーを袋詰めする

新たに4事業者と協定を締結

NEWS&  
1月16日  
TOPICS



市は高齢者の見守りに関する協定を第一生命保険㈱(写真右)と佐川急便㈱恵那営業所(写真左)、㈱セブンイレブン・ジャパン、伊藤新聞店の4事業者と新たに締結しました。業務中に訪問した高齢者の安否確認を行い、異変に気付いたときは市へ連絡するという内容です。

地域防災のリーダーを養成

NEWS&  
1月15日  
TOPICS



本年度の市防災アカデミーの修了式が行われ、受講者28人を代表して明智中学校の生徒4人に修了証が手渡されました。同アカデミーは、防災の一線級で活躍する方を講師に、災害に対する正しい知識や技術を習得することで、地域防災のリーダーを養成します。

体育館に響く琴の音色

NEWS&  
1月20日  
TOPICS



大井町の古山雅楽静さんが、長島小学校5年生の音楽の授業で琴の演奏を指導しました。琴に触れるのは初めての児童ばかりでしたが、右手の親指に着けた琴用の爪で器用に弦をつまびき、2時間の授業の最後には全員で『さくら』を演奏するまでになりました。

テレワーク推進に心強い支援

NEWS&  
1月18日  
TOPICS



ICT(情報通信技術)を使って都市部企業のサテライトオフィスなどを推進する「えなじ〜オフィス展開プロジェクト」の通信環境に関して、市と株式会社アミックスコムは協定を締結しました。明智町のSOZOで伊藤義仁代表取締役と市長が協定書に署名しました。

武並小で伝統の道笛を習う

NEWS&  
1月24日  
TOPICS



武並小学校の6年生31人が、地元で伝わる「道笛」を武並神社道笛保存会の指導で練習をしました。この笛は昨年竹を加工して一人一人が手作りの笛です。完成したばかりで初めて吹く笛ですが、2月の武並町文化発表会での披露に向けて練習していきます。

伝建地区を火災から守れ

NEWS&  
1月21日  
TOPICS



国の重要伝統的建造物群保存地区(伝建地区)に選定されている岩村町本通りで、防火や防災意識を啓発する夜回りが行われました。市少年消防隊岩村地区隊員らが拍子木を打ちながら約1時間「戸締り用心、火の用心。火事をなくそう岩村町」と呼び掛けて歩きました。